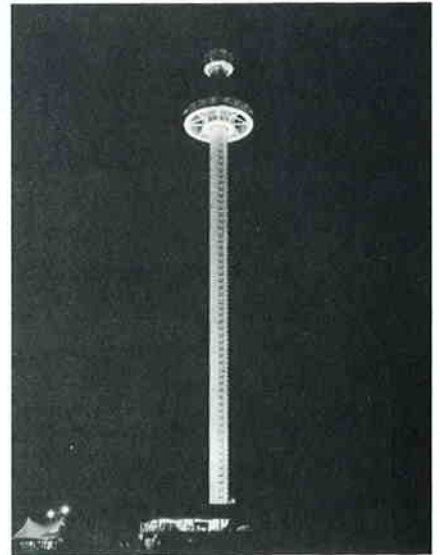
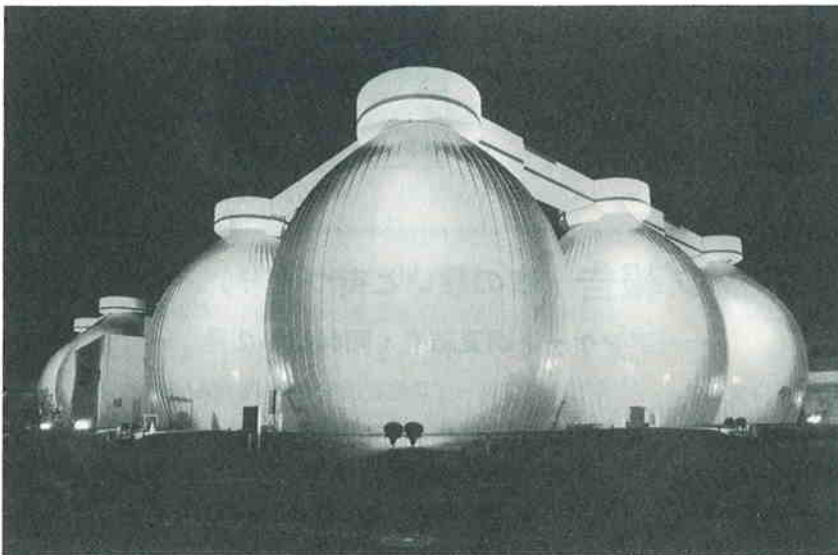
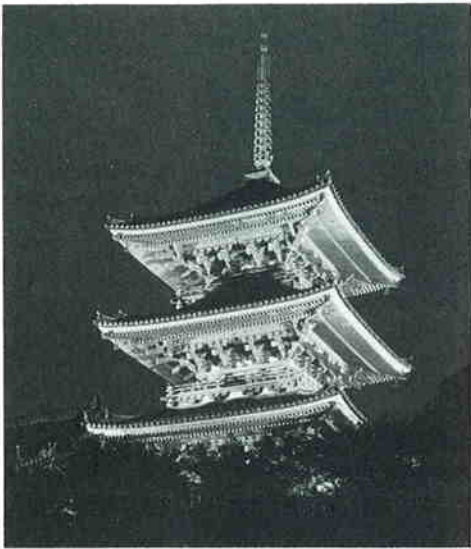




照明普及会だより

第3号

発行・社団法人照明学会・照明普及会 〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
平成元年1月20日



上段 清水寺三重の塔

下段 横浜市北部第2下水処理場

上段 ホワイトイルミネーション「サっぽロプラザ」

下段 瀬戸大橋タワー

刊 行 物 紹 介

1. 「ライトアップマニュアル—その手法と実施例—」

刊行のご案内

最近、都市景観の向上を図り都市の活性化のため、歴史的建造物や樹木等のライトアップの気運が各地で盛り上がっている。

照明普及会ではライトアップのプランニングのための資料として、この度「ライトアップマニュアル—その手法と実施例」を発売した。その構成は、ライトアップに関する市民の反響、一般的な注意事項、施設別の手法の紹介、実施例の紹介とから成っており、特に実施例については、建造物（26例）、橋梁（7例）、シンボルタワー（5例）、モニュメント（11例）、樹木（6例）、噴水（2例）、その他（5例）を掲載し、設備内容も可能なかぎり説明している。

ライトアッププランニングを実施する場合の資料としてお役立て下さい。

価格 定 価 1,800円/冊
 会員特価 1,500円/冊

<送料別>

(米田 記)

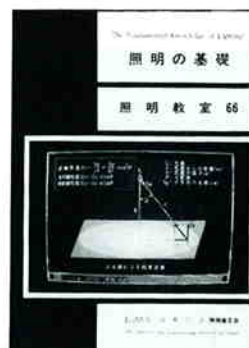


2. 照明教室 No.66「照明の基礎知識」

……目次の紹介

- | | |
|-----------|-------------|
| 1章 あかりの歴史 | 6章 照明に必要な計算 |
| 2章 照明の基礎 | 7章 照明器具と |
| 3章 光 源 | 照明制御機器 |
| 4章 照明器具 | 8章 照明経済と |
| 5章 照明方法 | 保守管理 |

(牧原 記)



3. その他の刊行物



名古屋ライトアップ報告（夜の賑いと街づくり）

——アンケート調査結果・昭和63年2月——

近年、各地にて、ライトアップに関するさまざまな活動が行われている。そのなかで、とかく夜が早いといわれる名古屋地区について、今回アンケートにより東京・大阪地区と比較調査を行ない「アフター5の一層の活性化と、文化の向上を目指した街づくりの方向性」について探った。以下はその一部をとりまとめたものである。

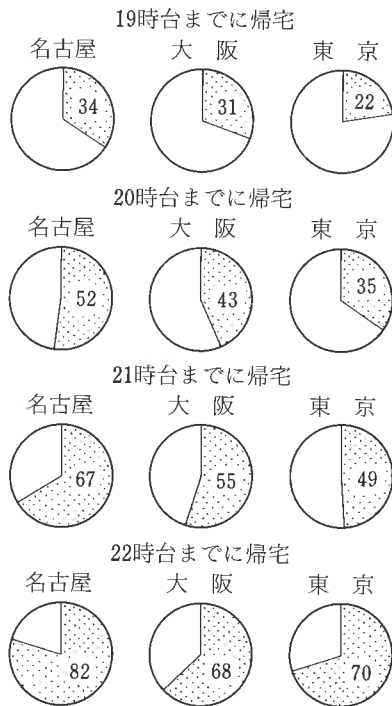
(1) アフター5の生活行動調査

調査結果は、東京地区がほとんどの分野で他地区

を大きく上回って活発に活動されている結果となっている。1ヶ月の行動・消費状況については以下のとおりである。

○平日の帰宅状況（部%）

昭和63年2月17日(水)の帰宅状況は、名古屋が20時台、大阪が21時台、東京が22時台までに半数の人が帰宅する。



○月1回以上外食をされる比率と1回当りの使用金額

都市	比率	金額
名古屋	75.3%	3,360円
大阪	73.1%	3,096円
東京	82.8%	3,182円

○月1回以上観劇をされる比率

都市	比率
名古屋	23.3%
大阪	27.5%
東京	36.8%

○月1回以上ショッピングされる比率と1回当りの使用金額

都市	比率	金額
名古屋	47.5%	13,272円
大阪	52.8%	11,670円
東京	52.8%	10,630円

行動比率は名古屋は、他都市に比べ低い消費金額面ではトップとなっている。

(2) 繁華街の活性化のポイント

街をより一層活性化をするため、「最も先に何をすべきか」について、街の人の意識は、第1位が

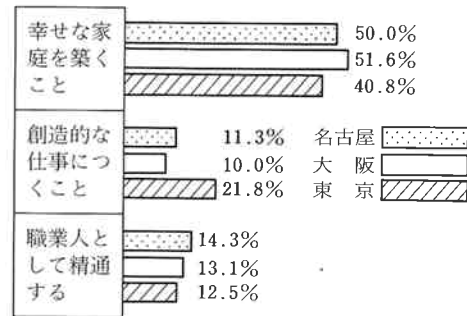
都市	ポイント
名古屋	商店街の営業時間の延長
大阪	夜の治安対策
東京	商店街を清潔にする

(3) 終電・終バスの時間についての調査結果は、地下鉄・バスは三都市ともそれほど違いはないがJRと私鉄は名古屋が早い。

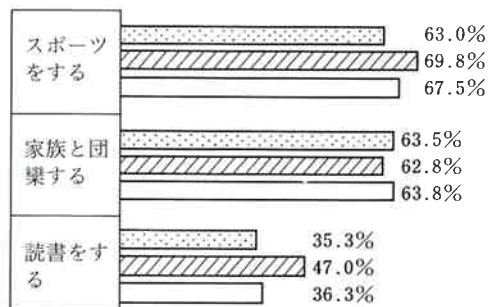
(4) 名古屋のライトアップの推進については、街が明るくなり、活気とセンスアップにつながるとして、賛同者は80%にもなっている。

(5) 人々の意識面、文化面の意識調査結果

○人生目標



○自由時間の使い方



○都市の代表イメージ

都市	イメージ
名古屋	「保守的」・「地味」
大阪	「親しみやすい」・「楽しい」
東京	「若々しい」・「楽しい」

今回紹介しました、アンケート結果は紙上の関係でほんの一部でしたが、名古屋の人々の特徴として、「帰宅時間が早く、門限が厳しく、就寝時刻も早い、またアフター5の活動も地味である」ということ、また、夜の賑いづくりの課題が明らかとなりました。

中部電力(株)営業開発部計画・産業システムグループ

TEL (052)951-8211

「あかりの日」キャンペーン報告

あかりの日は、昭和56年10月21日に第1回が行なわれ、本年度で8回を迎えました。

あかりの日制定については、「照明文化の向上による、豊かな社会の創造とエネルギーの有効活用」をめざして照明のもつ意義を改めて認識するとともに正しい照明知識の普及と啓蒙活動を推進することを目的として毎年10月21日に行なうこととなりました。

10月21日は、1879年のこの日にエジソンによって実用的な白熱電球が発明された日にちなみ、また、冬にむかって日照時間が短くなり人工照明に頼るこ

とが多くなる時期でもあることからこの日を選定いたしました。

10月21日は全国10地区（北海道・東北・東京・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄）において街頭キャンペーンを行ない、小冊子と白熱電球1個を入れた特箱を配布するとともに、小冊子やポスターの配布を各地区で行ない啓蒙活動を進めております。なお、当会の他に、日本電球工業会、日本電気協会、日本照明器具工業会が共催して活動を行っております。

(事務局 記)

昭和63年照明普及賞の推薦について

昭和63年照明普及賞は維持員各位にご送付しておりますとおり、1月31日(火)必着にて推薦をご依頼していることとは存じますが、推薦ご希望の方は下記の点に注意の上、期限まで各電力会社担当課あてご送付下さい。

- ①当会の維持員の推薦のあった候補者で、(イ)施設(ロ)普及の2分野で推薦下さい。1施設1件を原則とします。
- ②当会指定の推薦書に定められた書式にのっとり記載下さい。推薦書と同時に、写真、35mmスライドを添付下さい。(写真とスライドは同一であること)
- ③提供資料は原則として返却しません。提供資料の著作権は当会に帰属します。

(事務局 記)

照明普及会昭和63年度事業報告

(昭和63年10月～12月)

- 10月18日 ライトアップ推進専門部会
◦「ライトアップマニュアルその手法と実施例」の原稿調整および写真の色校正作業を行なった。
- 10月21日 あかりの日
◦全国10地区でキャンペーン活動を行なった。
- 11月22日 照明普及会活性化検討専門部会
◦普及会の活性化のため方策について、会勢の拡大、魅力ある普及会のあり方について検討を行なった。
- 11月22日 企画推進委員会
◦各専門部会の報告を行なった。
- 12月1日 照明教室専門部会
◦照明教室67「光源」の査読を行なった。
- 12月2日 普及会だより専門部会
◦第3号の編集および第4号の編集方針を決定した。
- 12月7日 あたらしい照明専門部会
◦あたらしい照明107の色校正を行なった。
- 12月8日 運営委員会
◦昭和63年度事業経過報告および会計報告を行なった。

(事務局 記)